



LIXIL 端部カバーA

ライシスフェンス8型・11型



取付説明書

- このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、あなたや他の人々の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容(指示)にしたがってください。
- この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

安全に関する記号 記号の意味

-  **警告** ●取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。
-  **注意** ●取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

一般情報に関する記号

-  **ポイント**
 - 取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
 - 守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。
- ※
 - 取付説明の内容全体(個々の説明枠)にかかる注意事項を示しています。
 - 取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。
-  **補足** ●説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

<施工の前に>

警告

- フェンスは隣地との境界を示す目的で設置するものです。転落防止を目的とした防護柵や歩行補助を目的とした手すりとしては使用しないでください。

ポイント

- 正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- 施工終了後、取扱説明書は施主様にお渡しください。

<施工上のご注意>

注意

- 施工時に製品の表面に付着したモルタルやコンクリートなどは、速やかに拭き取ってください。
- 柱間隔1m以内で施工の指示があるものは、必ず指示にしたがってください。強度低下の原因となります。
- 現場でブラケットや継手を組付け・締結する場合は、施工後に締結具合を必ず確認してください。締結不良は風による破損・飛散事故の原因となります。
- 柱と本体ジョイント部の間隔は300mm以内に施工してください。それ以上離れると耐風圧強度が大幅に低下します。
・ボルト、ネジは弊社純正品の規定本数を使い、下記締付けトルクで固定した後にゆるみがないか確認してください。
φ4ネジ：1.6N・m±0.3N・m(16±3kgf・cm)
- 組付け後、鋭利な切断面やバリが露出していないことを確認してください。露出したままではケガをするおそれがありますので、必ず修正してください。

■梱包明細表

【1】ライシス8型

名 称	略 図	員 数	
		分割用	切詰用
		T-6、8、10	T-6、8、10
端部カバー枠A		2	1
端部カバー枠B		1	—
端部カバー枠C		1	1
【1-1】φ4×15ナベタッピンネジ2種(G=5)		4	2
【1-2】φ4×6トラスタッピンネジ3種		16	8
取付説明書<C441>	—	1	1

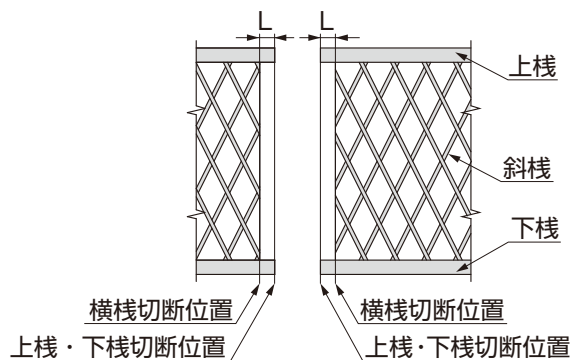
分割用の場合は【1-2】T8は4本、T6は8本余ります。切詰用の場合は【1-2】T8は2本、T6は4本余ります。

【2】ライシス11型

名 称	略 図	員 数					
		分割用			切詰用		
		T-6	T-8	T-10	T-6	T-8	T-10
縦棧		2	2	2	—	—	—
端部カバー枠		2	2	2	1	1	1
【2-1】φ4×15ナベタッピンネジ2種(G=5)		4	4	4	—	—	—
【2-2】φ4×6トラスタッピンネジ3種		21	29	37	11	15	19
取付説明書<C441>	—	1	1	1	1	1	1

【2-1】は1本余ります。

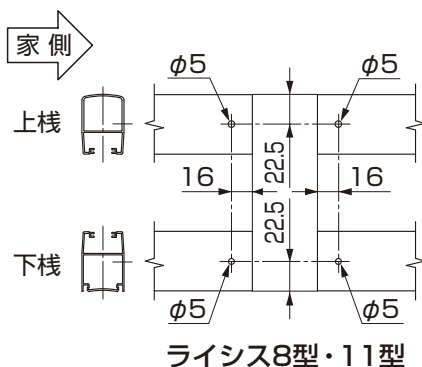
1. 本体の切断



- ①本体を分割位置で切断してください。
- ②横棧を横棧切断位置で切断してください。

タイプ	L(mm)
ライシス8型	9
ライシス11型	10

2. 本体の孔加工



- ①左図を参照して、上・下棧にφ5の孔加工を行なってください。

ポイント

- φ5の孔加工は裏面(家側)のみです。

3. 本体の組付け ※分割した本体のもう一方も、同様に組付けてください。

3-1 ライス8型の場合

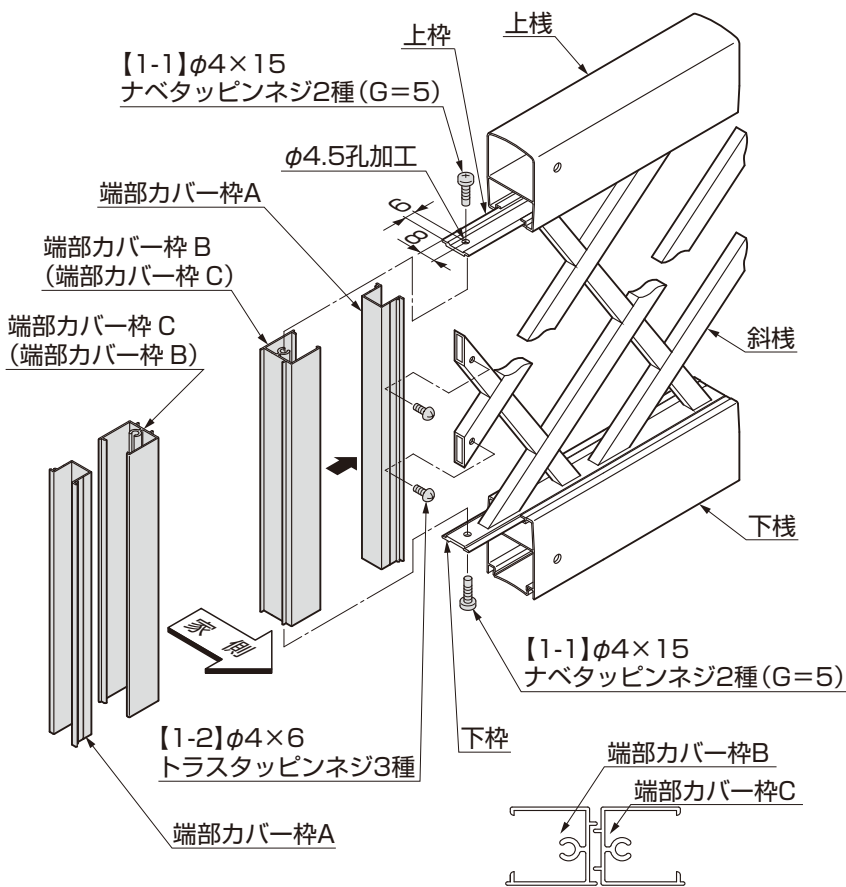


図3-1 端部カバー枠の取付け

- ①端部カバー枠Aと斜棧を合わせ、φ3.5の孔加工をして【1-2】で取付けてください。

補足

●孔加工は、本体裏面（家側）より行なってください。

- ②上・下棧を左右にスライドし、上・下枠に左図を参照してφ4.5の孔をあけてください。

- ③端部カバー枠BまたはCを端部カバー枠Aにはめ込み、【1-1】で取付けてください。

ポイント

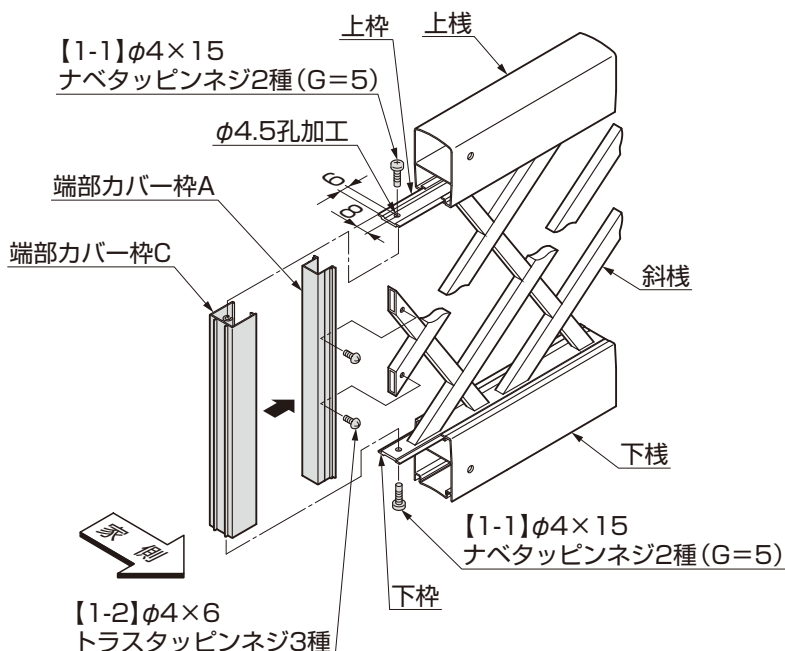
●端部カバー枠B、Cは、図3-1のようになるように取付けてください。

補足

●上枠、下枠に斜棧がかかる位置で切断するとφ4.5の孔加工ができない場合があります。端部カバー枠BまたはCが端部カバー枠Aにはめ込まれていることを確認してください。

- ④スライドさせた上・下棧を元の位置に戻してください。

3-2 ライス8型 切詰めの場合



- ①上・下棧、上・下枠を、切詰め長さ分切断してください。

- ②切詰めた本体の斜棧の切断および、上・下棧の孔加工を行なってください。（「1. 本体の切断」、「2. 本体の孔加工」参照）

- ③以降の取付手順は、「3-1 ライス8型の場合」と同様に行なってください。

3. 本体の組付け つづき

3-3 ライシス11型の場合

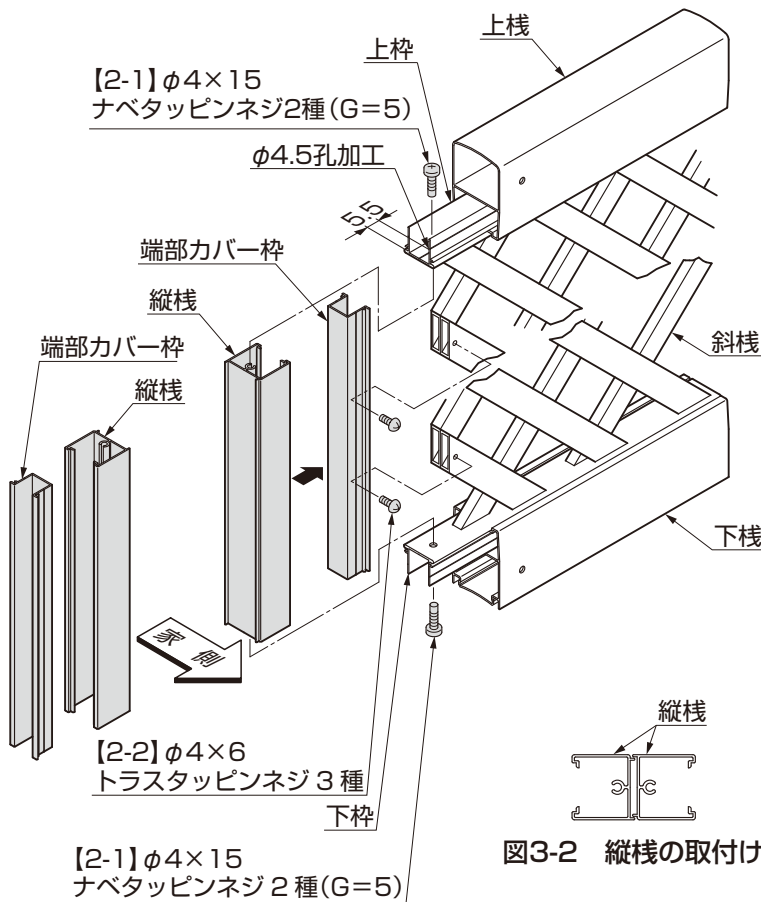


図3-2 縦棧の取付け

- ①端部カバー枠と斜棧を合わせ、φ3.5の孔加工をして【2-2】で取付けてください。
- ②上・下棧を左右にスライドし、上・下枠に左図を参照してφ4.5の孔をあけてください。
- ③縦棧を端部カバー枠にはめ込み、【2-1】で取付けてください。

ポイント

- 縦棧は、図3-2のようになるように取付けてください。

補足

- 上枠、下枠に斜棧がかかる位置で切断するとφ4.5の孔加工ができない場合があります。縦棧が端部カバー枠にはめ込まれていることを確認してください。

- ④スライドさせた上・下棧を元の位置に戻してください。

3-4 ライシス11型 切詰めの場合 ※詳しい取付方法は、「3-3 ライシス11型の場合」を参照してください。

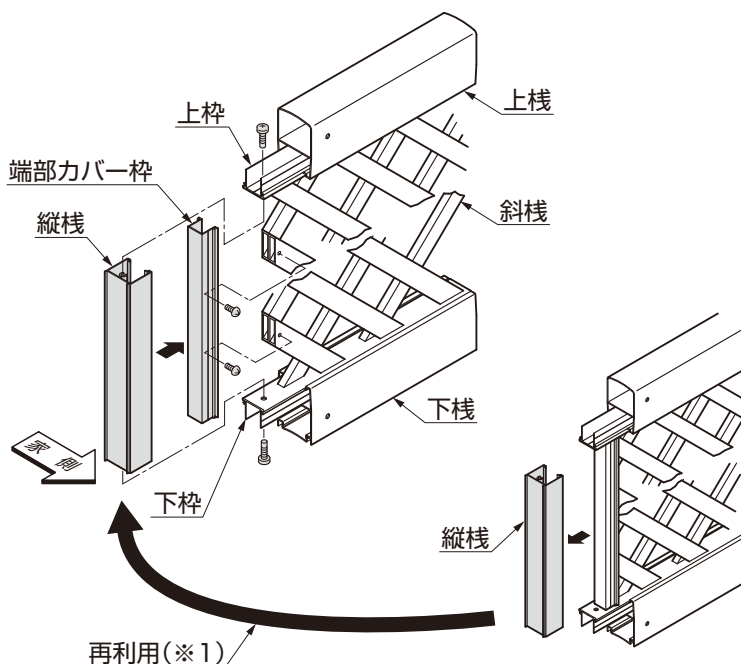


図3-3 切詰めた余りの本体

- ①上・下棧、上・下枠を、切詰めの長さ分切断してください。
- ②切詰めた本体の横棧の切断および、上・下棧の孔加工を行なってください。（「1. 本体の切断」、「2. 本体の孔加工」参照）
- ③切詰めた余りの本体から、縦棧を外してください。（図3-3参照）縦棧と縦棧取付ネジは再利用してください。（※1）
- ④以降の取付手順は、「3-3 ライシス11型の場合」と同様に行なってください。

取説コード

C441

JZZ626590B
201401A_1047
201611C_1047